

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和8年2月27日

事業所名: ほのぼの学級

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	0	0	・子どもさんの動きに合わせて活動スペースを分ける工夫を行いました。				・もう少し広くてもいいかと思えます。	・限られた空間を有効に活用しながらゆったりと過ごせる空間作りを行っています。
	2 職員の適切な配置	3	0	0	・職員は適切に配置されています。パート保育士も雇用しています。					
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	0	0	・細かい構造化は難しいですが出来るだけ多目的に場所を使わない環境作りを行うことで子どもさんが何をするのか分かるよう取り組みました。					・今後も子どもさんが理解しやすい環境を作るための様々な工夫をしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	0	0	・換気、加湿、二酸化炭素測定、空調による室温管理を徹底しました。				・きれいにしておさっているが、建物の老朽化が気になる。	・今後も建物の安全チェックを定期的に行ない、修繕が必要な場合は早急に対応をするようにしていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	3	0	0	・年度ごとの事業計画の作成に全員が関わり、業務の改善を進めるために目標と振り返りを行うことで意識を高めました。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	3	・第三者による外部評価は実施していません。					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	0	0	・今年度は園内研修や外部研修に積極的に参加しました。また、職員全員が公開療育のある外部研修に参加し、支援の質を高められるよう努めました。					
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	3	0	0	・ガイドラインに基づいた支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しました。					
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・事前のアセスメント、ミーティングなどを行い、共通理解を図り支援計画を立案しました。					
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3	0	0	・子どもさん一人ひとりに合わせた支援について、ガイドラインに基づき具体的に記載しました。					
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・作成された支援計画に基づき、個別活動や集団活動を織り込むようにしています。					
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	3	0	0	・支援計画に基づいた連絡ノートを個別に作成し保護者の方にも支援の進捗状況が分かるようにしました。					
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	3	0	0	・クラス職員で活動プログラムを検討して、立案するようになりました。					
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	0	0	・季節感のある遊びや、伝承遊びを取り入れ、活動がマンネリ化しないように工夫しました。					
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援				非該当					
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3	0	0	・療育前の準備段階で打ち合わせをしました。					
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3	0	0	・療育終了後に振り返りを行い、次回に活かすよう取り組みました。					
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	0	0	・日々や月の支援については記録を残すようにしました。					
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3	0	0	・年に2回、見直しを行いました。また適宜必要と思われる場合にも見直しを行います。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1	3	0	0	・会議を開催する際には児発管やクラス職員などが参画できる体制を整えました。						
	2	3	0	0	・利用している医療機関や事業所からの情報収集、情報共有をするための連絡調整を行い、連携した支援が行えるようにしました。						
	3	3	0	0	・緊急時直ちに医療機関への受診ができるよう体制を整えました。主治医に園での処置の方法、緊急時の対応について確認し、共通理解のもと医療ケアを行うようにしました。						
	4	3	0	0	・就学を迎える際には子どもさんの状況や支援内容を保護者の方と一緒にサポートブックにまとめて、それをもとに保護者、園の職員、就学先、放課後等デイサービス、訪問看護と引き継ぎ会を行うように予定しています。						
	5	3	0	0	・放課後等デイサービスを利用する際には、保護者の方と一緒に作成したサポートブックをもとに引き継ぎを行う予定です。						
	6	3	0	0	・ひよこ園事業と合同で研修を行いました。						
	7	3	0	0	・幼保との交流の機会の設定は行いませんでした。ひよこ園ではインクルージョンに不可欠なことは本人のセルフエスティムを育むことと、保護者の方が子どもの持つ特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ほのぼの学級の療育支援は、その点に重点を置いています。	5	0	2	2	・知らないだけかもしれないです。	幼稚園・保育所・認定こども園との交流の機会についての考え方は、事業所の現状評価欄に記載しています。
	8	3	0	0	・クリスマス会ではボランティアさんにサンタクロースに扮していただき、子どもさんたちと一緒に参加していただきました。						
保護者への説明責任・連携支援	1	3	0	0	・支援の内容については、保護者の方に開示する際具体的に説明しました。利用者負担については契約時に詳しく説明し、内容を記した重要事項説明書をお渡しするとともに、療育室へも掲示しました。	9	0	0	0		
	2	3	0	0	・支援計画を保護者の方に開示する際、目標、および支援内容について具体的に説明しコピーをお渡ししました。	9	0	0	0		
	3	3	0	0	・個別懇談会・クラス懇談会・全体懇談会などで子どもさんへのかかわり方や支援について助言を行いました。また、クラス懇談会や療育中クラスに入っただけ機会を設け、園での支援を体験してもらい、家庭でも取り組みやすいようにしました。	9	0	0	0		
	4	3	0	0	・日々の連絡ノートや送迎時、個別懇談会などで、保護者との共通理解を図るための機会を設けました。	9	0	0	0		
	5	3	0	0	・相談を受けた場合には日々の連絡ノートや送迎時、個別懇談などにおいて具体的な対応について助言を行いました。	9	0	0	0	・月1懇談会が少し負担。どうしても必要時以外は保護者の希望で1か月飛ばすとか、融通をきかせてほしい。	・希望があればその都度ご相談ください。
	6	3	0	0	・保護者会の依頼により、会場の設定や、企画した行事や勉強会等のお手伝いを行いました。	8	0	0	1		・今後も保護者会の活動がより良いものになるよう、協力します。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	7	3	0	0	・苦情受付から解決までの体制を整えています。契約の際に苦情窓口や担当者、解決責任者などの説明をしました。保護者の方の意見を受け付けやすいよう、ご意見箱を設置しました。	8	0	0	1	・苦情があるように思えないが、環境は出来ていると思う。	・保護者の方からのご意見を受け付けた場合には、迅速に対応していきます。
	8	3	0	0	・子どもさんについては、情報を受け取りやすい方法や手段の支援を個々に合わせて行ない、互いに伝わりやすいコミュニケーション支援を実施するようにしました。保護者については、個別懇談会、日々のノート、電話、送迎時などに相談内容について検討して対応しました。また、週の予定、園の行事、月ごとのおたより、感染症情報などをコドモンで配信することで、情報提供や意思疎通に努めるようにしました。	9	0	0	0		
	9	3	0	0	・週のお知らせや園だより、献立表などをコドモンで配信し、情報提供に努めました。また、クラス懇談会、全体懇談会に関するお知らせも配信しました。	8	1	0	0		
	10	3	0	0	・契約の際、個人情報の取扱いについて保護者の方に説明し、同意書にも署名捺印していただくようにしました。個人情報を含む文書に関しては鍵がかかる保管庫で保管し、個人情報を含むデータに関しては一元管理を行うようにしました。また、ヒヤリハット活動により意識統一をしました。	9	0	0	0		
非常時等の対応	1	3	0	0	・それぞれのマニュアルを作成し、保護者の方に閲覧していただけるように療育室での掲示とコドモン資料室の掲載を行いました。感染症については、「ほのぼの学級通園に関して」に記載しており、契約の際説明し、お渡ししました。	9	0	0	0		
	2	3	0	0	・年に一回、震災、非常災害、強風時の避難訓練、津波、不審者訓練を行いました。また月に1回、消防訓練を行ってその都度反省会を行い、問題点について改善し、緊急時に迅速に対応できるよう努めました。コドモンで訓練の実施について報告をしました。	9	0	0	0		
	3	3	0	0	・服薬については、服薬が必要な場合与薬表を記入してもらい、服薬した時間や対応者の記入を行うようにしました。予防接種に関しては、入園前に接種状況を確認するようにしました。てんかん発作に関しては年に1回アンケートを配布し、発作の有無を確認しました。実際に発作が起こった時の対応を保護者と相談して職員間で情報共有し、迅速かつ適切に対応できるよう努めました。						
	4	3	0	0	・アレルギーに関するアンケートを配布し、アレルギーの有無の確認を行い、その際医療機関を受診していない方に関しては医師の診察をお願いしました。指示書に応じて除去食(代替食)を提供し、また提供する際には間違いがないようにトレイの色を変えることや置き場所の工夫、調理室からの伝達事項をクラス職員に周知するようにしました。						
	5	3	0	0	・非常時マニュアルを作成して災害時に備えた訓練を実施し、子どもの安全を確保できるよう努めました。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	3	0	0	・非常時にはコドモンにて連絡を行うようにしました。 要医療児の対応としては、日常必要な物品の予備を災害用として備蓄するようにしました。	8	0	0	1		
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	0	0	・日々のヒヤリハットは終礼時に報告を行い、改善策の検討や事故に繋がる可能性のある状況への意識づけを行いました。 また、ヒヤリハット事例とけがや事故に繋がった事例も含めてヒヤリハット活動を月に1回実施しており、対応策を話し合い、職員全員に周知するとともに意識統一を図りました。						
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	3	0	0	・虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修の内容を検討しました。定期的に虐待防止研修やエンパワメント研修を行ったり、事例検討を行ったりして職員全員の意識を高めました。						
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	0	0	・保護帽、姿勢保持椅子を使用する場合は年間支援計画に記載しました。 姿勢保持椅子を使用する子どもさんは保護者の方にマニュアルをお渡ししました						
満足度	1 子どもは安心感をもって通所しているか					9	0	0	0	・とっても安心していると思います。	・子どもさんが安心、安全に過ごることができるよう職員一同配慮していきます。
	2 子どもは通所を楽しみにしているか					9	0	0	0	・とっても楽しみに通っています。	・子どもさんが楽しめること、魅力的なことを取り入れた活動を考えていきます。
	3 事業所の支援に満足しているか					9	0	0	0	・とっても満足しています。	・保護者の皆さんや子どもさんに満足してもらえるよう、努力していきます。